

水 稲

<トビロウカ(秋ウンカ)>

水田に入り水稻株(圃場全体的に100株程度)をかき分けて、株元のウンカ発生状況を確認しましょう。発生が認められたら防除を行いましょう。

薬剤名(抜粋)	使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数
トレボン乳剤	1000~2000倍	14日前	3回
スタークル顆粒水溶剤	3000倍	7日前	3回
スタークル粒剤	3kg/10a	7日前	
エクシードフロアブル	2000倍	7日前	3回

乳剤・水溶剤等の液剤、粉剤は株元までしっかりかかるように散布しましょう。

トビロウカは、中国大陸より複数回飛来します。それが定着していれば水田内では発育段階の異なったウンカが混在していますので、一回の防除では不十分で追加の防除も必要になります。

さといも

ハスモンヨトウ・ハダニ類の発生、また台風や長雨による疫病の発生・蔓延に注意しましょう。

水ナス

台風や長雨による褐紋病の発生・蔓延に注意しましょう。

キャベツ

<根こぶ病> 播種・定植前に根こぶ病の対策をしましょう。

農薬名(抜粋)	希釈倍数・処理量	使用時期	使用回数	使用方法
ネビジン粉剤	20~30kg/10a	播種または定植前	2回	全面土壌混和
ネビリュウ	20~30kg/10a	播種または定植前		全面土壌混和
オラクル粉剤	20kg/10a	播種前(苗床)	2回	全面土壌混和
	30kg/10a	定植前		全面土壌混和
オラクル顆粒水和剤	300g・水 100L/10a	定植前	1回	全面散布後土壌混和
	200~500倍(0.5L/1トレイ)	定植前		セルトレイ灌注

ネビジン・ネビリュウの特徴：根こぶ病菌を休眠させる働きをします。

オラクルの特徴：根こぶ病菌の密度を低減させる働きをします。

<ハイマダラノメイガ(シンクイムシ)等の害虫の発生に注意してください>

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	1000~2000倍	前日	3回
スピノエース顆粒水和剤	5000倍	3日前	3回
ベネビアOD	2000~4000倍	前日	3回
グレーシア乳剤	2000~3000倍	7日前	2回

たまねぎ

<苗床の準備・管理>

日当たりと水はけの良い場所を選ぶ

—10a分の苗を作るのに必要(目安)—

苗床[播種床]面積は、40~50㎡(12~15坪)。

種子量は、2缶(4dl)。

元肥は、苦土入り化成8-8-8で8kg。

追肥は苗の状態を見ながら、苦土入り化成8-8-8で2.5kgを限度とする。

苗は過湿に弱いので、生育に合わせて灌水量を調節する。

播種適期より早まきすると大苗になって抽苔(とう立ち)・

分球しやすくなる。また、遅まきすると収量が上がらな

るので、適期に播種・定植を行う。

<出穂期以降の水管理>

時期	水管理
出穂20日前から出穂20日後	湛水管理(土の表面が露出しない程度の湛水)
出穂20日後から成熟期	間断かんがい

<刈り取りの目安>

稲穂に青い籾が10~15%程度残っている時期が刈り取りの適期です。

刈り遅れると、胴割れ米や過熟米が発生しやすくなり、玄米の品質低下につながります。

<刈り取り前落水>

土質にもよりますが、刈り取りの7日前頃からの落水が望ましいです。早すぎる落水は、胴割れ米等の品質低下、未熟粒の増加につながります。落水後でも異常に乾燥が進むと胴割れ米等の発生原因になるので、その場合は、少し走水をするとうまいでしょう。

<斑点米カメムシ類>

農薬名(抜粋)	使用量	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	3kg/10a	7日前	3回
スタークル顆粒水溶剤	2000倍	7日前	
トレボン乳剤	2000倍	14日前	3回
エクシードフロアブル	2000倍	7日前	3回

スタークル粒剤は穂が少し垂れてきた頃が散布適期です。



2021年 9月出荷暦							2021年 10月出荷暦(改訂)						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4 出荷済み						1	2 出荷済み
5	6	7 出荷済み	8	9	10	11 出荷済み	3	4	5 出荷済み	6	7	8	9 出荷済み
12	13	14 出荷済み	15	16	17	18 出荷済み	10	11	12 出荷済み	13	14	15	16 出荷済み
19 出荷済み	20	21	22 出荷済み	23	24	25 出荷済み	17	18	19 出荷済み	20	21	22	23 出荷済み
26	27	28 出荷済み	29	30			24	25	26 出荷済み	27	28	29	30 出荷済み
							31	祝日の改訂に伴い10日は通常出荷になり12日が出荷休みに変更になっています。					

	品 種	播種適期	定植適期	収穫適期	吊り
極早生	浜育	9/8~9/10	10/下~11/上	4/上~4/中	×
早 生	七宝早生7号	9/20~9/23	11/上~11/中	5/上	×
	錦穂	9/12~9/15	10/下~11/上	4/下~5/上	×
中 生	ターザン	9/25~9/30	11/中~11/下	5/下	○
	アンサー	9/23~9/25	11/中	5/中~5/下	△
	ターボ	9/20~9/25	11/中	5/下~6/下	○
	ネオアース	9月下旬	11/中	5/下	○
	アドバンス	9月23日	11/中~11/下	5/中	×
晩 生	七宝甘70	9月30日	11/中~11/下	5/下~6/上	△
		10月15日	1/中~2/中	6/上~6/中	
	くれない	9月30日	11/下	6/上	○
	もみじ3号	9月28日	11/下	6/上	○

農薬使用の基本は、『農薬ラベルの確認・使用方法を守る』『周辺への飛散防止対策をする』『農薬の管理、散布器具の整備を徹底』農薬散布をした際は、その都度生産履歴(防除日誌等)に正確に記帳しましょう。